



2006年12月21日

各位

大日本住友製薬株式会社

安全性・有効性情報一元管理データベースについて

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武健次郎）は、この度、臨床に関する情報を一元管理できるデータベース〔名称：Standard Database（SDB）〕を稼動いたしましたので、お知らせいたします。

SDBは、国内外治験の全ての情報及び国内の市販後安全性情報を一元管理するもので、今後、全ての品目をデータベース化し管理していきます。

このSDB構築により、国内外の治験業務の効率化、スピード化、信頼性の向上を図ることができるとともに、同じ疾患分野のデータを統合した分析等を行うことにより治験計画の策定にも活用していきます。また、治験段階から市販後までの安全性データを蓄積していくことにより、安全性に関する適切な情報提供にも有効に活用していく所存です。

以上

○本件に関するお問い合わせ先

大日本住友製薬(株) 広報部 TEL 06-6203-1407